

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」掛川第2校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 12日 ～ 2025年 12月 6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・人員配置により、より専門性の高い支援が可能となり、お子様達が安心して楽しく通うことができています。	・お子様の目線に合わせ、自信をつけたり、楽しめたりできるようプログラムを構成している。 ・各支援に専門職員の意見を反映させている。	・職員間の意見交流を深め、支援の幅を広げていく。
2	・個別支援なので、お子様のその時々様子に応じて臨機応変に対応できる。	・お子様のその日の様子をみながら、支援内容や課題の量を調整している。 ・お子様の意見を尊重することで自主性を育てている。	・学校との連携に努め、学校での様子を見学していく。 ・情報共有を行い、支援の課題を提供していく。
3	・お子様・保護者様のご要望にタイムリーに応えることができる。 ・保護者様が相談しやすい環境・雰囲気がある。	・日々、職員同士のコミュニケーションがとれており、情報共有ができています。 ・共有した情報を基に、継続した支援を行うよう努めている。	・フィードバックの内容や説明の専門性を高めるため、研修に参加する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用回数や時間を増やして欲しいとご要望を受けるが、利用枠の都合上、やむを得ずご要望に沿えないことがある。	・制度の仕組み上、一日の利用人数に上限があるため。	・キャンセルが出る等、枠が空き次第、ご希望者様に連絡をしていく。
2	・昨年の3月に保護者会を行ったことが最後となっている。	・多くの保護者様の参加が可能な日時で企画立案することが難しく、実施に至っていない。	・保護者会を開催するにあたり、開催案内を早めに作成し、出欠確認をしていく。
3	・ブログ等のSNS更新を行っているが、周知不足となっている。	・更新のみにとどまっており、更新したことの告知を行っていない。	・更新したことの告知を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」掛川第2校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 54

回収数 54

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	48	5	0	1	・キャッチボールや卓球など簡単なボール遊びができるスペースがあると嬉しい。 ・2階の活動スペースに余計な物がなくて良いと思います。 ・体を動かす活動の時はせまく感じる。	支援室の中に余計な物を置かないことで、狭いスペースでも広く使えるように心掛けていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	52	0	0	2		法令で必要とされている配置数に加え、指導員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	5	2	3	お楽しみのおもちゃが1階にあるので、切り替えがしやすいと思います。	段差等の危険箇所には、ラミネートによるお知らせや緩衝材の配置等の配慮をしています。聴覚過敏のお子様については、別室にて支援を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	52	1	0	1		毎朝、全職員で清掃・消毒を行っています。また、活動内容に応じて室内の配置を変えて対応しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	52	1	0	1		フィードバックの際には、支援内容の目的や狙いを、個別プログラムを提示しながら丁寧に説明するよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50	1	0	3	一人一人に合わせて支援内容を変えてくださっていて、ありがたいです。	ご意見ありがとうございます。法人内の研修や外部の研修に参加し、自己研鑽を積んでいきたいと思います。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	53	0	0	1		定期的にあセスメントやモニタリングを行った上で作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48	1	0	4		個別支援計画とともに専門的支援実施計画を合わせて、具体的な支援内容を記載しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50	1	0	3		プログラム作成時には個別支援計画を確認し、計画に沿った支援を行うようにしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	49	2	0	3	いろいろな先生が支援にあたってくださいるのが、良いと思います。	ワンパターンにならないように、お客様の発達段階に合わせて教材を使い分けています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	9	11	18	平日は利用していないのでよくわからない。	個別支援という特性上、望まれない保護者様が多いため、行っておりません。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	51	2	0	1		契約時や内容変更があった際には、管理者、児童発達支援管理責任者より説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53	1	0	0		個別支援計画を提示し、説明を行った上でサインをいただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	10	3	12		研修の情報を提示して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	51	3	0	0	子どもを引き渡す際に口頭で伝えていきます。	支援の様子を見ていただいたり、情報交換・共通理解ができるよう支援後にフィードバックをしたりしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	46	7	0	1		契約時と6カ月毎のモニタリング等でお話を伺っています。家族支援としてお時間を確保できるので、お気軽にお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	51	1	0	2		今後も、保護者様やお子様の気持ちに寄り添い、支援をして参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	14	7	23	・まだその様なイベントには参加していないためわかりません。 ・同じ中学生の保護者の方とお話できるといいなと思っています。 ・利用している日数が少ないこと、きょうだいがいないのでよくわからない。	今年度は実施できず、申し訳ございませんでした。保護者会を開催するにあたり、開催案内を早めに作成し、出欠確認して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	5	0	5	子どものやりたいことに上手に寄り添ってくれる。	希望があった際には、電話による相談や来所時に面談を行う等の対応をしています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	4	0	0		お子様への視覚補助や動作、声掛けの共通化等の工夫をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	7	3	10		ブログを毎月更新しておりますので、よろしければご覧ください。自己評価の結果については、ホームページにて公開しています。また、事業所内にも掲示しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	52	0	0	2		個人情報が含まれる書類・PC等は、鍵付きの鉄庫にて管理及び持ち出しの制限を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	46	3	0	5		事業所内に掲示しています。また、毎月1回防災訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	47	4	0	3		事業所内に掲示しています。また、毎月1回防災訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	53	0	0	1		事業所内に掲示しています。また、毎月1回防災訓練を実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39	3	0	12		事故が発生した際には、お電話やフィードバックにてお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	53	0	0	1		今後も精進して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	48	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体調や気分的な事にも寄り添っていただいて、無理なく楽しんで通わせていただいて感謝しています。 ・大好きな野球ごっこしてくれる先生がいるので毎週楽しく通所できることはありがたい。 ・先生方と会えるのをとても楽しみにしています。 ・家から遠くなってしまったので、出るまで嫌がるようになってしまった。 ・いつも楽しそうです。 ・毎週木曜日はきらりの日だという認識はある。 	今後も精進して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	52	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧な支援ありがとうございます。子どもは毎回楽しみにしています。 ・個別支援で、子どもに合った支援をいただけていると感じます。 ・いつも温かく見守ってくださり、感謝しております。 	今後も精進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」掛川第2校		2026 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援内容（プログラム）を確認し、運動を含める際はスペースの広い場所を使用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		令和7年12月現在では、児童発達支援管理責任者1名、社会福祉士1名、保育士2名、児童指導員2名、強度行動障害資格1名が在籍している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様の特性に合わせ、環境設定を都度行っている。	お子様が落ち着ける環境を提供できるよう努めていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		午前中に支援やイベント等がない限り、毎朝清掃を行っている。消毒は支援開始前と支援終了後に必ず行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーテーションで区切って支援を行っているが、場合によっては場所を変えて支援している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			事業所評価のアンケートのご意見等は真摯に受け止め、改善に努めていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の申し送りや意見交換等により、職員の意見・考えを把握し、業務改善に努めている。	今後も気軽に話し合いをすることができる関係性を継続していく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人内で定期的に内部監査を行い、改善に努めている。	法人内で検討中。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内の研修が年間で計画され、受講できている。また、発達支援研究所や外部講師による事例検討会に参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画、専門的支援実施計画、支援記録を基に、お子様に合わせたプログラムの作成を行っている。また、HPIにはどのような支援に取り組んでいるか公表している。	支援時のお子様の様子は、支援後のフィードバックでお伝えしているが、目的や様子をわかりやすく伝えられるよう努めていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		毎年のアセスメントに加え、日々の情報交換やモニタリング等を行い、ニーズや課題を掴み、作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成・更新時はもちろん、日々の情報共有を行うなかで、どのような支援を行っていくか検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援プログラム作成時にすぐに確認できるよう支援準備のファイルに入れている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内で使用しているアセスメントシートを用いて確認している。また、発達支援評価ツールでの把握も行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のそれぞれの目標・支援内容を明記し、専門的支援実施計画でより具体的に支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間の情報共有を欠かさず、活動プログラムの見直しも会議で検討している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一定期間固定して様子を見る場合もあるが、ワンパターンにならないよう課題の内容や指導員の変更を行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		月に一度の小集団活動を実施しているが、お子様の様子や希望に合わせて個別支援に変更することもできている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		同じ時間帯のお子様の相性などを配慮して、座席や支援内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間での情報共有・振り返りのほか、相談をしあえるよう努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援前や支援中に希望を聞いて変更したり、選択肢から提示したりと自己決定の機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と共に、普段の支援で主に担当をしている職員が参加している。また、会議の準備としての資料作成もその職員を中心に行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		近隣の医療機関に協力医を担っていただいたり、学校や保育園との情報共有を行ったりと連携体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて連絡を取り合い、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		移行支援会議に参加し、情報を共有を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		東遠地区生活支援センター、自立支援協議会放デイ連絡会が主催する研修等に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		個別支援という特性上、望まれない保護者様が多いため、行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		総会や放デイ連絡会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後に毎回フィードバックを行い、情報を共有している。	
保	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		研修の情報を提示していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		管理者もしくは児童発達支援管理責任者より説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎回モニタリングを行う際に、お子様の様子やきらりに対するご要望を伺い、支援計画に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		5領域に沿った支援計画を一つずつ示し、説明した後に同意のサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		6カ月毎のモニタリング時にお話しするほか、随時相談を受け付け、対応している。	

護 者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会を開催するにあたり、開催案内を早めに作成し、出欠確認をしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログを毎月更新している。	更新したことの告知を行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる書類・PC等は、鍵付きの鉄庫にて管理及び持ち出しの制限を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個別支援という特性上、望まれない保護者様が多いため、行っていない。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事業所内に掲示し、保護者様に確認しやすいようにしている。職員用も同様にいつでも確認できるよう保管している。また、毎月1回防災訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		事業所内に掲示し、保護者様にも確認しやすいようにしている。職員用も同様にいつでも確認できるよう保管している。また、毎月2回防災訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。また、支援前にも体調に変化があるかの確認ができている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的には食物の提供はしていないが、契約時に確認している。また、支援前にも体調に変化があるか確認ができている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、社内での研修・訓練に参加している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事業所内に掲示し、保護者様にも確認しやすいようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した場合、迅速に職員間で情報共有し、再発防止に向け話し合っている。また、記録を保管し、いつでも確認できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人で年間の研修計画や委員会実施計画を策定し、取り組んでいる。毎月チェックリストを用いて確認している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		支援計画に記載している。また、切迫性、非代替性、一時性の3要件を満たした時行う可能性があることを契約時に説明している。	